

PF-CS470



ver.002

52万画素屋内BOXカメラ

52万画素

屋内

逆光補正

フリッカレス



取扱説明書

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

目次

1. はじめに

商品概要	4
付属品をご確認ください	4
免責について	4
個人情報の保護について	4
安全上のご注意	5
使用上のお願い	7

2. 各部のなまえとはたらき

カメラの各部のなまえとはたらき	8
モード設定スイッチのはたらき	9
Day/Nightモードの動作イメージ	10

3. 設置と接続

カメラの設置のしかた	11
カメラの接続のしかた	12
レンズの装着のしかた	13
フォーカス調整のしかた	14

4. その他

製品仕様	15
寸法図	16
お手入れのしかた	16
故障かな?と思ったら	17
その他適合商品一覧	18
アフターサービスについて	19

はじめに

商品概要

本機は 1/3 型 CCD 搭載の 960H CCD カラー監視カメラです。
適合レンズ（別売り）と組み合わせる事で撮影が行えます。

付属品をご確認ください

	・カメラ本体		・カメラ取付台
	・カメラ取付台固定ネジ（2本）		・取扱説明書（本書）
	・DCジャック付ケーブル		

免責について

- 本製品は、犯罪抑止等を意図して製作された商品ですが、犯罪の防止・安全を完全に保証するものではありません。万一被害など発生致しましても、当社は責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害など。
- ② お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の破損など。
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合。
- ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことによる不便・損害・被害。
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
- ⑥ お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となり、または監視目的以外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します（※）。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

正しくご使用いただくために必ずお守りください

取扱説明書および製品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。



警告

・ 水にぬらさないでください。 本製品がぬれると、故障、火災、感電の原因となります。	 禁止
・ 強度のない天井や壁には、カメラを設置しないでください。 地震などの振動で、製品が落下した場合、けがや重大な事故につながります。	 禁止
・ 屋外で使用しないでください。 雨や風の影響で故障の原因になることがあります。	 禁止
・ 異常があるときはすぐに使用をやめてください。 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。	 電源プラグを抜く
・ 分解や改造はしないでください。 発熱、火災、感電の恐れがあります。	 分解禁止
・ 異物を入れないでください。 水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因になります。	 禁止
・ 振動のないところに設置してください。 取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがの原因となります。	 必ず実施

安全上のご注意



警告

<p>・人や物がぶつからない高さに設置してください。 落下などの事故の原因となります。</p>	 必ず実施
<p>・各部のボルト、ナット類は確実に締め付けてください。 取り付け後、ゆるみ、がたつきがあると、落下して、けがの原因となります。</p>	 必ず実施
<p>・塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。 取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。</p>	 禁止



注意

<p>・工事は販売店に依頼してください。 工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けがの原因となります。</p>	 必ず実施
<p>・定期的に点検をしてください。 金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。点検は販売店にご連絡ください。</p>	 必ず実施
<p>・お手入れの際、長期間使用しない場合は電源を切ってください。安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。</p>	 電源プラグを抜く
<p>・湿気やほこりの多い場所などに設置しないでください。湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p>	 禁止

使用上のお願い

警告、注意に記載されている内容とともに、本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の項目をお守りください。

● 取扱いはていねいに。

落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

● 配線は電気製品（蛍光灯）などの他の配線には近づけないでください。

近づけて配線すると、画質の低下をまねくことがあります。このようなときは、配線を変えてください。テレビの送信アンテナやモーター・トランスなどの強い電界や磁界の近くでお使いになると、ビデオモニターの画面がゆがんだり、ゆれたりすることがあります。このような場合は、ケーブル専用の薄鋼電線管を設けて通線してください。

● カメラで赤外線投光器を使用して暗い場所を撮影したとき。

カラー・白黒モードが頻繁に切り換わることがあります。これは、赤外線投光器の光量が多すぎるために発生します。このようなときは赤外線投光器の角度を変え、赤外線光量を減らすよう調節してください。

● 太陽や強い照明・反射に向けしないでください。

画面の一部に強い光があると、ブルーミング（強い光の周りがにじむ現象）や、スミア（強い光の上下に縦縞が発生する現象）を生じることがあります。

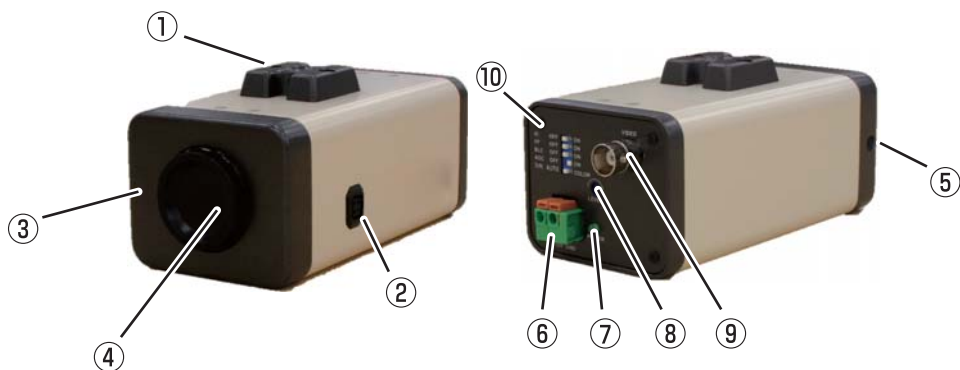
● 清掃は乾いたやわらかい布でふいてください。

ベンジン・シンナー・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形、変色の原因となります。

● 停電時、通電復帰は自動復帰します。

但し、記録については、録画機器側にゆだねられます。

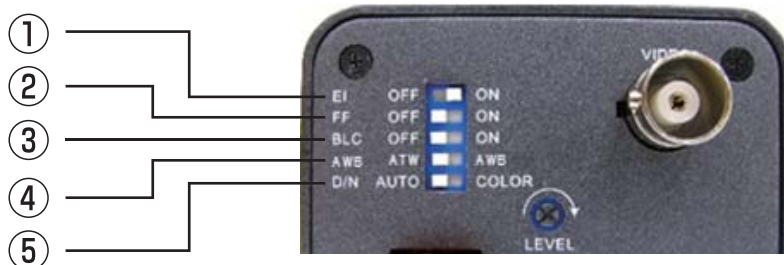
カメラの各部のなまえとはたらき



① カメラ取付台	カメラを取付金具に取り付けるためのネジ（1/4-20UNC）穴です。付属のカメラ取付台固定ネジでカメラに固定して下さい。設置状況に応じて上下どちらにでも取り付け可能です。
② DC アイリスケーブル接続コネクタ	レンズに入る光を自動調整する DC アイリスケーブルを接続するコネクタです。
③ レンズカバー	レンズ取付部の防塵用カバーです。本カバーを取り外した後、内側にある IR カットフィルターの保護テープも取り外して下さい。
④ レンズマウントリング	レンズ取付マウントです。各種 CS マウントレンズが使用できます。本レンズマウントリングの位置を調整しレンズのフランジバックを調節します。
⑤ レンズマウント固定ネジ	フランジバック調節後、レンズマウントリングを固定します。
⑥ 電源端子台	1 2V の電源を供給する端子です。（左側：+ 1 2V、右側：GND）
⑦ 電源表示ランプ	電源が入っていると緑色に点灯します。
⑧ アイリスレベルボリューム	DC アイリスレンズを装着したとき、レンズ絞りの調整を行います。
⑨ カメラ映像出力端子（BNC 端子）	カメラ映像の出力端子で、同軸ケーブルを接続します。
⑩ モード設定スイッチ	各機能のモード設定を行うスイッチです。

モード設定スイッチのはたらき

モード設定スイッチで、カメラの設定を設置する環境にあわせてます。



① 【EI】電子シャッター速度切替スイッチ	ON：シャッター速度を1/60～1/100000秒で自動制御します。動きが激しい被写体の撮影時に設定します。 OFF：シャッター速度を1/60秒固定にします。（お買い上げ時の設定）
② 【FF】フリッカー補正切替スイッチ	ON：フリッカーが目立つときに設定します。 OFF：フリッカー補正機能をOFFにします。（お買い上げ時の設定）
③ 【BLC】逆光補正切替スイッチ	ON：光補正が働き、被写体の背後から明かりが当たる場所での撮影時に、被写体OFF：体の黒つぶれを改善します。 逆光補正機能をOFFにします。（お買い上げ時の設定）
④ 【AWB】ホワイトバランス動作切替スイッチ	ATW：追従範囲の制限により、濃い色の被写体や単色の追従が軽減されます。（お買い上げ時の設定） AWB：ATWより追従範囲が広くなります。
⑤ 【D/N】Day/Nightモード切替スイッチ	COLOR：常にカラー映像を表示します。 夜間などの低照度時に、カラー映像から白黒映像へ自動的に切り換わります。 AUTO：ります。（お買い上げ時の設定）

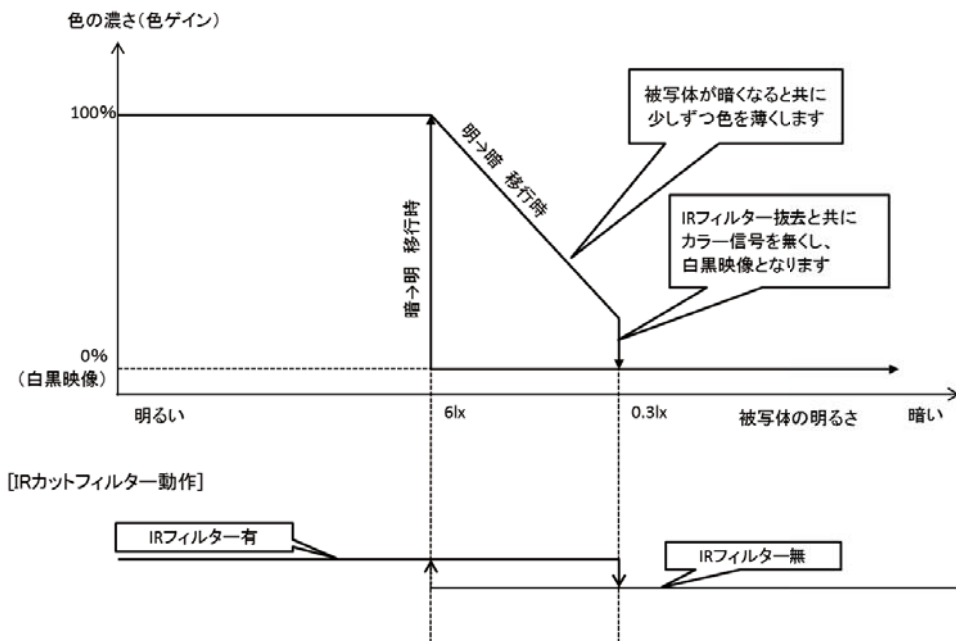
注）【EI】と【FL】のスイッチを両方ONに設定すると、レンズのF値や被写体により、画像の白飛びが発生する事があります。

Day/Night モードの動作イメージ

Day/Night モード ON のときの、IR フィルター切り替え動作イメージ（レンズ F 値 1.2 を想定）についてご説明いたします。

明時→暗時：約6lxの光量より色信号を抑制し、約0.3lxでIRカットフィルターを抜去すると共に白黒映像に切り替わります。

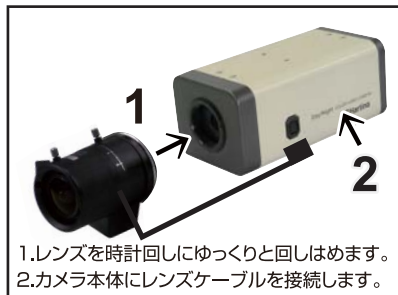
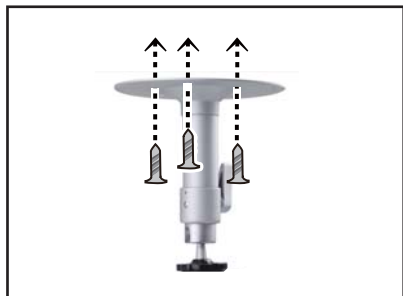
暗時→明時：約6lx でIR フィルターを挿入し、カラー映像に復帰します。



カメラの設置のしかた

取付ブラケット(別売)を使用してカメラを取り付けます。

- ① ブラケットOS-E794(別売)を設置します ② 本体にレンズを接続します(レンズ別売)



- ③ 取付ステーを取付けます



- ④ カメラを取付けます

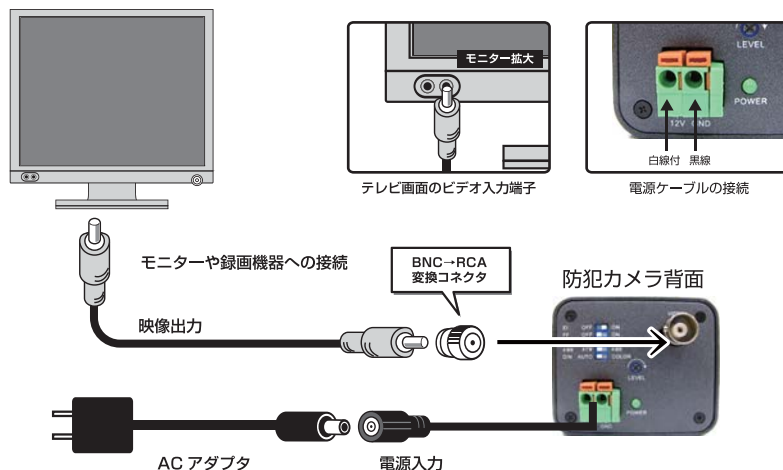


- ⑤ カメラの向きを調整します

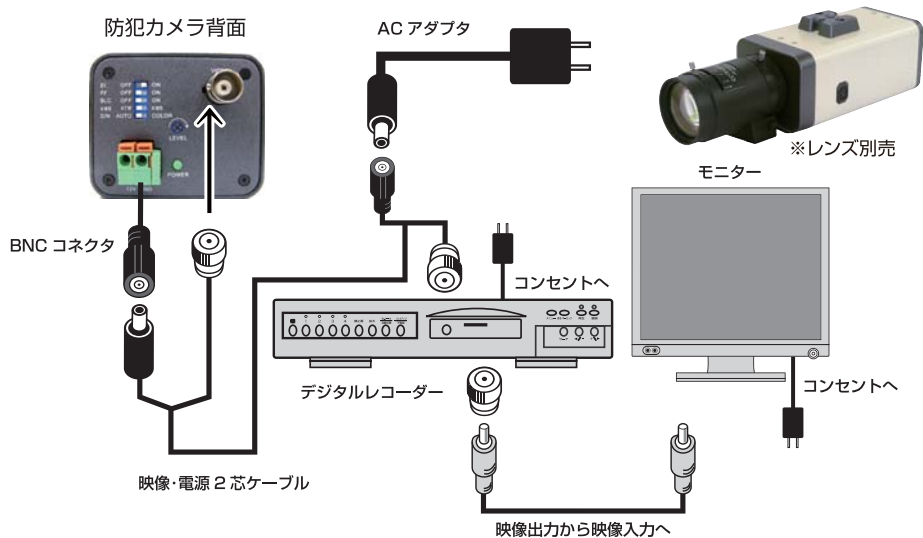


カメラの接続の仕方

■ テレビモニターへの接続方法



■ デジタルレコーダーへの接続方法



■ 電源ケーブルの接続

- ・ 本機に電源が供給されると、背面にある【POWER】ランプが点灯します。
- ・ 電源は定格 DC 12V / 1.0A 以上のもをお使いください。
- ・ 電源線と GND 線の極性に注意して接続して下さい。

■ ビデオモニター等の接続

- ・ 75Ω系同軸ケーブルで接続して下さい。

レンズの装着のしかた

本カメラは CS マウントレンズ（別売り）または、C マウントレンズ（別売り）を取り付ける事が可能です。C マウントレンズを取り付けるときは、付属の C マウントリングをカメラ本体に装着した後にレンズを取り付けて下さい。

1. レンズカバー及び保護テープを取り外します。

⚠ 保護テープは必ずはがしてください。

(カバーを外した状態)

保護テープ

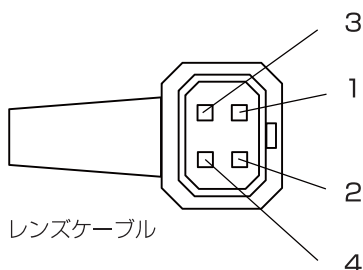


2. レンズを時計方向に回して、カメラ本体にしっかり取り付けます。



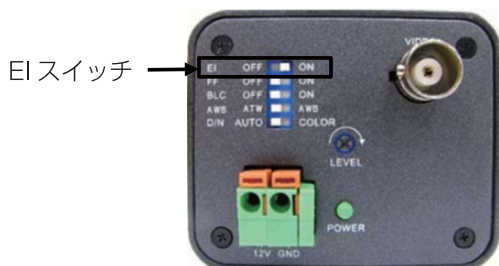
3. DC アイリスレンズの場合、ピン配置を確認してレンズのケーブルを本体側面のコネクタに接続して下さい。

1. 制御 (-)
2. 制御 (+)
3. 駆動 (+)
4. 駆動 (-)



フォーカス調整の仕方

フォーカスの調整を行うときは、カメラ背面の【EI】スイッチを ON に設定し、レンズの絞りを開放にして行って下さい。



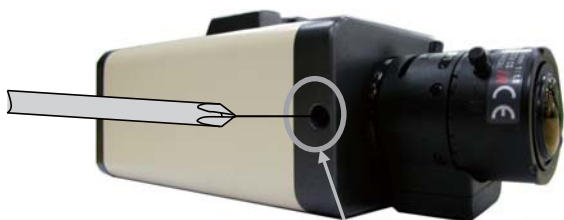
フォーカス調整してもピントが合わない場合は、下記の手順でフランジバックの調整を行って下さい。

■固定焦点レンズの場合

1. レンズマウント固定ネジをプラスドライバーでゆるめます。
2. レンズのフォーカスリングを無限遠にし、遠くの被写体を写します。
3. レンズマウントリングを回してピントを合わせます。
4. レンズマウント固定ネジをプラスドライバーで固定します。

■バリエフォーカル／ズームレンズの場合

1. レンズマウント固定ネジをプラスドライバーでゆるめます。
2. レンズのズームを望遠にして遠くの被写体を写し、レンズのフォーカスリングを回してピントを合わせます。
3. レンズのズームを広角にして同じ被写体を写し、マウントリングを回してピントを合わせます。
4. 両方のピントが合うまで手順2,3を繰り返します。
5. レンズマウント固定ネジをプラスドライバーで固定します。

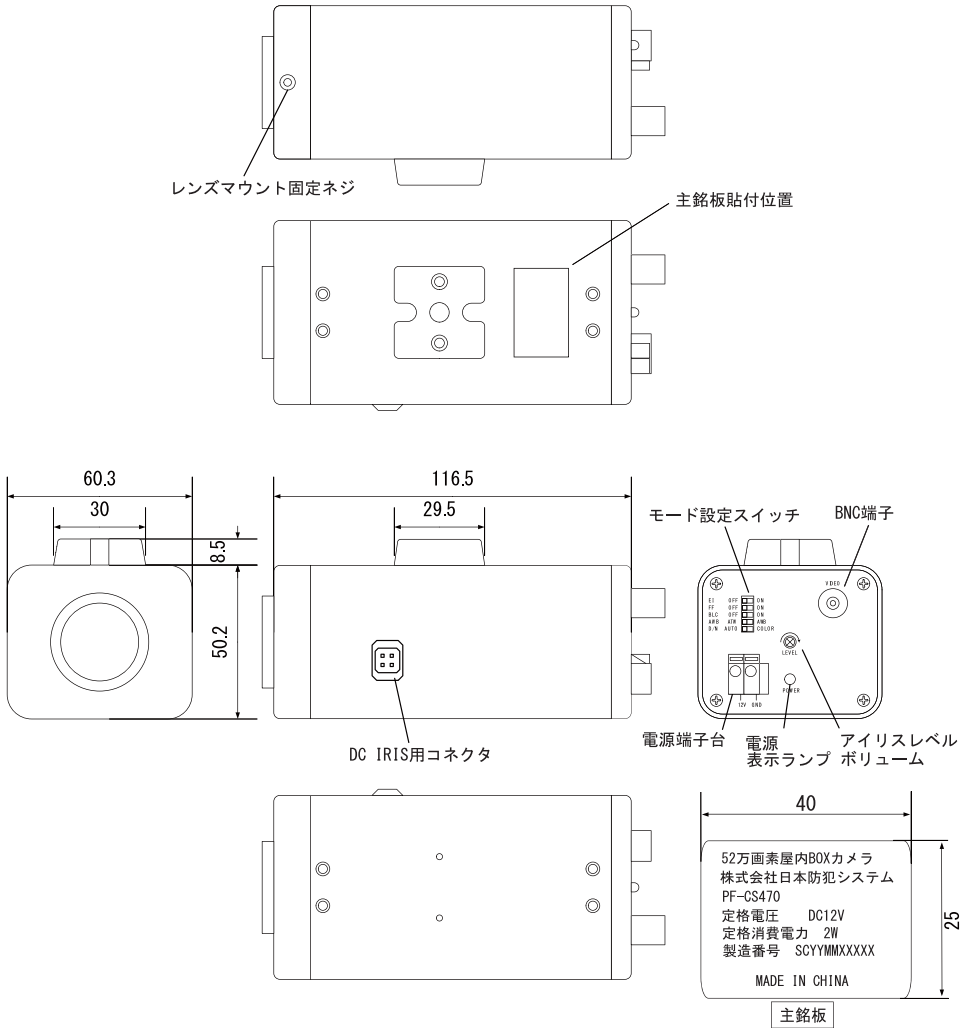


レンズマウント固定ネジ

製品仕様

項 目	仕 様
定格電圧	DC12V±10%
定格消費電力	2W
撮像素子	1/3型 インターライン転送方法CCD
総画素数	1020 (H) × 507 (V) Pixel
有効画素数	976 (H) × 494 (V) Pixel
走査方式	2:1インターレース
走査周波数	水平:15.734KHz 垂直:59.94Hz
同期方式	内部同期
映像出力	VBS 1.0Vp-p 75Ω NTSC方式
解像度	水平:560TV本(画面中心部)
S/N比	50dB
最低被写体照度	0.07Lux(カラー) 0.01Lux(白黒)
AGC	自動
ホワイトバランス	オートホワイトバランス
アイリス	DCオートアイリス
その他の機能	フリッカ補正、逆光補正、デイナイト
保存温度範囲	-20~60℃
使用温度範囲	-10~50℃
寸 法	幅60.3×奥行116.5×高さ50.2(コネクタ一部含まず)
質 量	約335g

寸法図



お手入れの仕方

- お手入れは、電源を切ってからお手入れをしてください。ベンジン・シンナー・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形、変色の原因となります。
- 汚れがひどいときは、水で十分うすめた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。
- レンズの清掃は、レンズクリーニングペーパー（めがねやカメラの清掃に使うもの）で軽く清掃してください。

故障かな？と思ったら

症 状	調べるところ	対 処	参照ページ
映像が表示されない	同軸ケーブルが正しく接続されていますか？	接続および設定が正しいか確認してください。	12
	モニターの電源スイッチはONになっていますか？	モニターの電源スイッチを確認して下さい。	—
	モニターや輝度、コントラスト調整は正しくされていますか？	モニターや、設定を確認してください。	—
映像がぼやける	カメラのレンズにゴミやほこりが付着していませんか？	カメラのレンズを確認してください。	—
	フォーカス調整が正しく行われていますか？	フォーカス調整を行ってください。	14
	同軸ケーブル付近に他の電気製品（蛍光灯など）の配線がありませんか？	配線経路を変えてください。	—

適合商品一覧

適合レンズ

型番	製品名
PF-EC005J	3～8mm デイナイト仕様バリフォーカルレンズ
PF-EC006J	2.8～11mm デイナイト仕様バリフォーカルレンズ
PF-EC007J	10～40mm デイナイト仕様バリフォーカルレンズ

電源部

型番	製品名
OS-E726	12V1A 電源アダプター
OS-E823	DC12V マルチ電源

組合せ推奨品

推奨ハウジング

型番	製品名
PF-EA701	屋外用ロングカメラハウジング
OS-E702	屋外用ロングカメラハウジング

推奨デジタルレコーダー

型番	製品名
PF-RP2xx	ネットワーク機能搭載マルチ機能内蔵 DVR
PF-RJ1xx	ネットワーク機能搭載マルチ機能内蔵 DVR

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。

所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本機が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。
- 補修パーツの供給期間は、本製品(PF-CS470)製造中止後7年間です。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況(できるだけ詳しく)
- ② 品名と品番
(52万画素屋内BOXカメラPF-CS470)
- ③ お買い上げ年月日(保証書に記入)
- ④ 製造番号(保証書に記入)
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。

詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

■万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店にお申し出下さい。

本商品は当社保証規定に基づいて保証させていただいております。

■RBSS マークについて

● RBSS マークについて

RBSS は防犯機器の安心マークです

- 優良防犯機器認定制度（RBSS* 制度）は、公益社団法人 日本防犯設備協会が一般の方々の安全・安心に寄与することを目的に、防犯機器に必要とされる機能と性能の基準を策定し、その基準に適合した機器を「優良防犯機器」と認定することにより、優良な防犯機器の開発および、普及促進を図る自主認定事業です。「優良防犯機器」には、防犯機器の安心マークであるRBSS ロゴマークを表示できます。

* RBSS：“Recognition of Better Security System”の英文略称



JAPAN SECURITY SYSTEM

Safety and trust keep to the future

- 東京本社 〒105-6109 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービルディング9階
TEL:03-6809-1217 FAX:03-6809-1701
- 仙台支店 〒980-6023 宮城県仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル23階
TEL:022-796-1538 FAX:022-796-1581
- 名古屋支店 〒451-0046 愛知県名古屋市西区牛島町2-5 トミタビル9階
TEL:052-589-3116 FAX:052-589-3132
- 大阪支店 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-5-15 新大阪セントラルタワー5階
TEL:06-6309-6088 FAX:06-6309-8845
- 広島支店 〒730-0051 広島県広島市中区大手町2-8-5 合人社広島大手町ビル10階
TEL:082-246-8860 FAX:082-246-8859
- 福岡支店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-5-7 博多センタービル11階
TEL:092-481-2125 FAX:092-481-2204

